講義・演習環境アプリケーション ハンズオン 一 2. nbgraderを用いた課題の手動採点 —

ご注意ください

- この資料はテスト環境にて作成しています。
- 実際のハンズオンセミナーの環境とはコース名、コンテンツ名、表示内容が多少異なります。

- この演習では1人で教師役と学生役を担当して、課題の配布・回収・採点、課題の取得・提出、採点結果の取得・閲覧を行います。
- 原則としてセミナーの講師が実演して見せるのみですが、個々の参加者はご自分で同様の作業を進めても構いません。
 - 途中で不明な点が生じてもスタッフによるサポートは行えません。



課題の作成・公開 (教師)

教師役として課題を作成・公開します。



外部ソールを起動

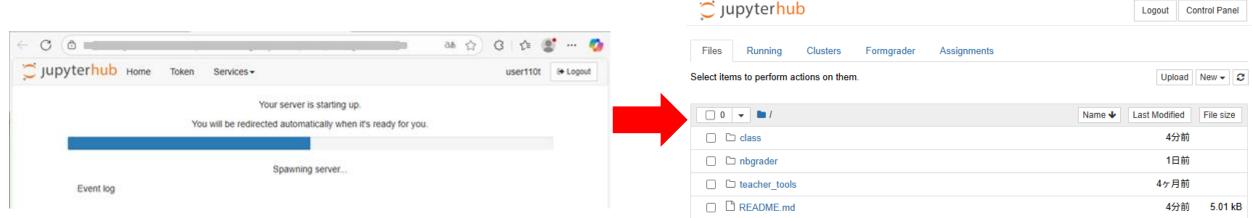
コース内に貼り付けた外部ツールをクリック。

course_110



Jupyter環境の起動

- MCJ-CloudHubにアクセスすると、各自のJupyter環境(プログラムの開発・実行環境)が起動。
 - 起動が完了するまで待機。



Jupyter環境が起動するまで待機

起動が完了するとファイルやフォルダの一覧が表示



課題の作成(1/25)

- 画面上部の「Formgrader」をクリックして課題一覧画面に移動。
- 「Add new assignment…」をクリック。





課題の作成 (2/25)

- •課題の名称(今回はassign02)を入力して、「Save」をクリック。
- •課題一覧画面に戻ったら課題の名称(assgin02)をクリック。





課題の作成 (3/8)

- 画面右上の「Upload」をクリック。
- PC上で課題ファイル(01-manual.ipynb)を選択。
- 該当するファイル名の横にある「Upload」をクリック。



課題の作成 (4/8)

タブを削除してホームに戻る。





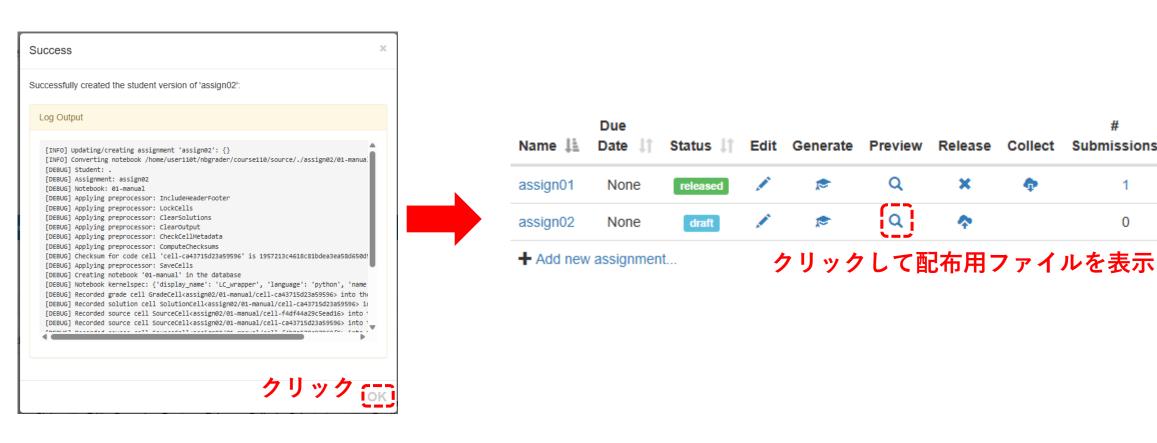
Collect

Submissions

0

課題の作成(5/8)

- 「Success」の画面が表示されたら画面下部の「OK」をクリック。
- 続いて、「Preview」のアイコンをクリック。



教師

課題の作成 (6/8)

• ファイルの一覧が表示されたら、配布用ファイルをクリック。



ファイルの内容を確認。

```
引数nの2乗を返す関数squareを定義します。「raise NotImplementedError()」を削除してからコードを記述してください。

In [ ]: def square(n):
    # YOUR CODE HERE
    raise NotImplementedError()

このセルでプログラムの計算結果を確認してみましょう。

In [ ]: print(square(5))
```



課題の作成 (7/8)

タブを削除していき、ホームに戻る。



教師

課題の公開(1/2)

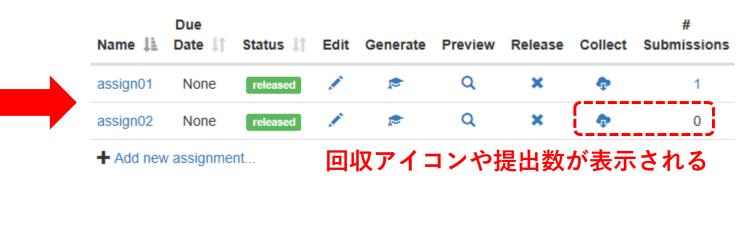
• 「assign02」の行の「Release」のアイコンをクリック。



課題の公開 (2/2)

「Success」の画面が表示されたら画面下部の「OK」をクリック。





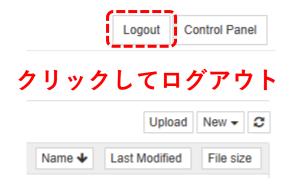
クリックしてタブを削除





ログアウト (1/2)

• 画面右上の「Logout」をクリックしてMCJ-CloudHubからログアウト。



• MCJ-CloudHubのタブを削除。



ログアウト (2/2)

• Moodleからもログアウト。

① 画面右上のユーザのアイコンをクリック



② クリックしてログアウト

課題の取得・記入・提出(学生)

学生役として課題ファイルを取得し、解答を記入して提出します。



学生としてMoodleにログイン

• 学生用のアカウントを使用してMoodleにログイン。





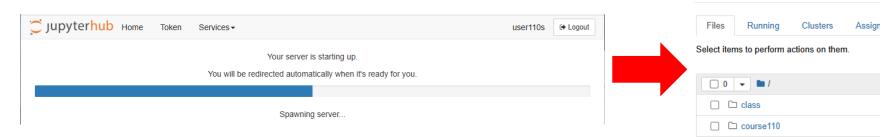
コースに移動してMCJ-CloudHubを起動

- マイコースに自分のユーザ番号に対応したコース)があるので、そのコースアクセス(画面例とは異なるかも)。
- コース内に設置された外部ツールをクリック。

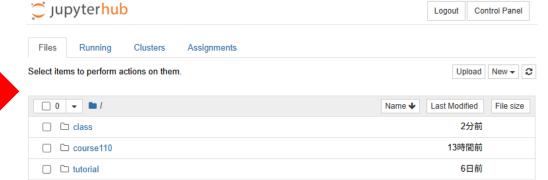


Jupyter環境の起動

- MCJ-CloudHubにアクセスすると、各自のJupyter環境(プログラムの開発・実行環境)が起動。
 - 起動が完了するまで待機。



Jupyter環境が起動するまで待機

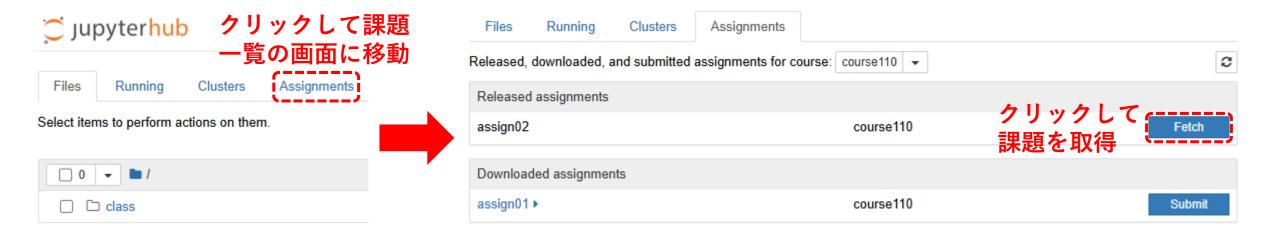


起動が完了するとファイルやフォルダの一覧が表示



課題の取得(1/2)

- 画面上部の「Assignments」をクリックして課題一覧画面に移動。
- 「assign02」が公開されているので、「Fetch」をクリック。





課題の取得 (2/2)

・取得済み課題の中に「assign02」が表示されるので、課題名をクリック。



課題名をクリックして、課題に含まれるファイルを表示

•課題に含まれるファイルが表示されるので、「01-manual」をクリック。



ファイル名をクリックして編集を開始

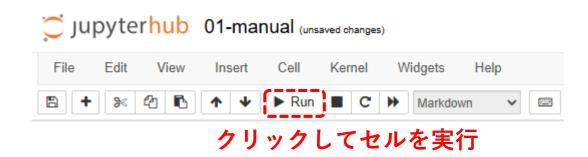


解答の作成 (1/5)

• プログラムを記入する課題の場合、「raise NotImplementedError()」を削除した後に解答を記入。



プログラムを記入できたらセルを実行。



解答の作成 (2/5)

プログラムを実行してエラーが表示されなければ、確認用のセルをクリックした後、そのセルを実行。

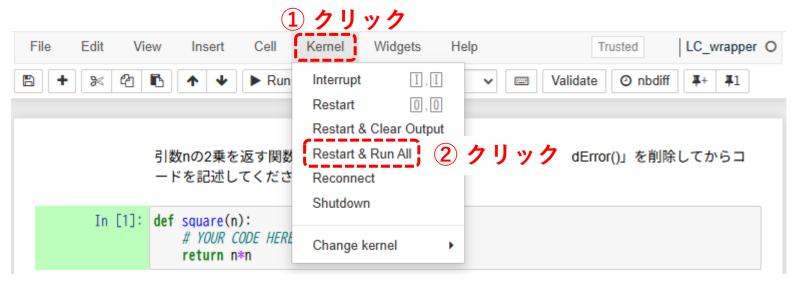


- 実行結果の表示に基づいて、解答の正誤を判断。
 - 教師側はそのように確認用のセルを作成すること。

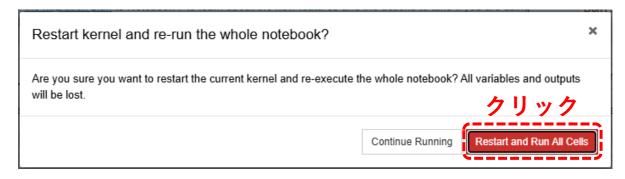


解答の作成 (4/5)

• 画面上部のメニューバーの中から「Kernel」をクリックし、続いて、 「Restart & Run All」をクリック。



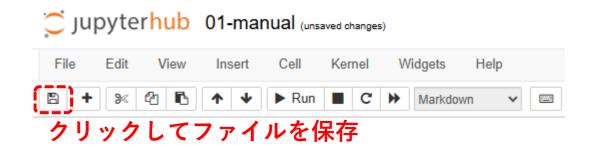
• 「Restart and Run All Cells」をクリック。エラーが発生しなければOK。





解答の作成 (5/5)

• 画面左上のディスクのアイコンをクリックして、ファイルを保存。



タブを削除してホームに戻る。





解答の提出 (1/4)

• 課題ファイルについて「Validate」をクリック。



- エラーが表示されず、以下の画面が表示されたらOK。
 - 「OK」をクリックして元の画面に戻る





解答の提出 (2/4)

• 課題「assign02」について、「Submit」をクリック。



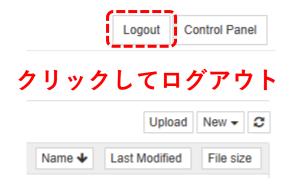
• 提出が完了すると、フィードバックを取得するためのボタンが表示。

Submitted assignments		
assign01	course110	Fetch Feedback
2025-08-26 21:32:44 JST (feedback available to fetch)		
assign02	course110	Fetch Feedback
2025-08-27 10:43:12 JST		



解答の提出 (3/4)

• 画面右上の「Logout」をクリックしてMCJ-CloudHubからログアウト。



• MCJ-CloudHubのタブを削除。





解答の提出 (4/4)

• Moodleからもログアウト。





提出物の回収・採点(教師)

教師役として、提出物を手動で採点します。



教師としてMoodleにログイン

• 教師用のアカウントを使用してMoodleにログイン。





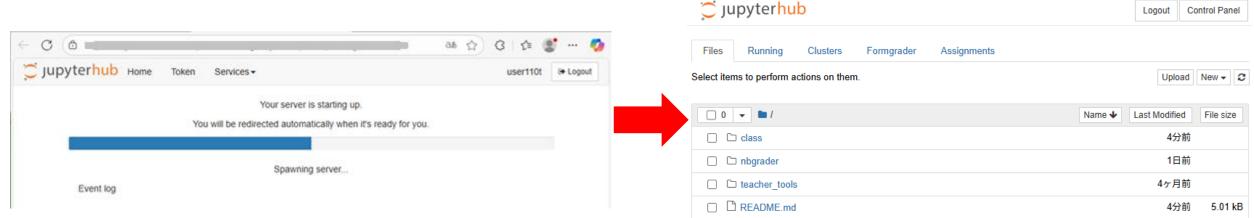
コースに移動してMCJ-CloudHubを起動

- マイコースに自分のユーザ番号に対応したコース)があるので、そのコースアクセス(画面例とは異なるかも)。
- コース内に設置された外部ツールをクリック。



Jupyter環境の起動

- MCJ-CloudHubにアクセスすると、各自のJupyter環境(プログラムの開発・実行環境)が起動。
 - 起動が完了するまで待機。



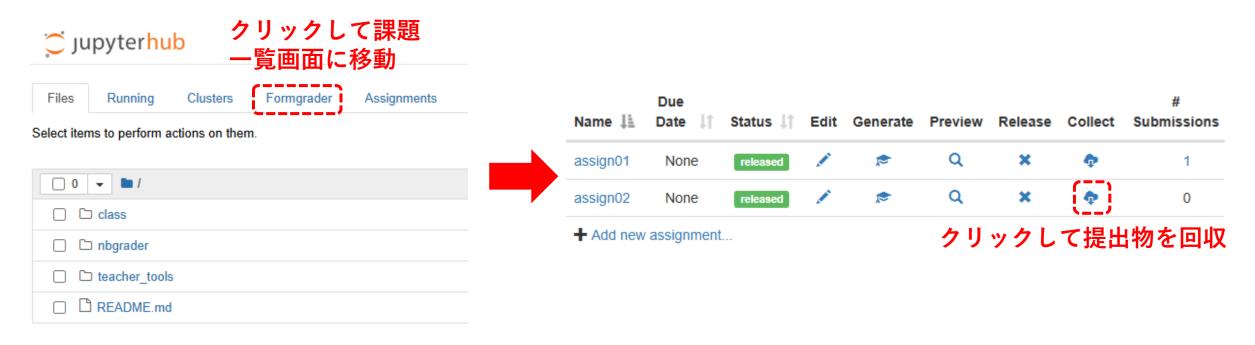
Jupyter環境が起動するまで待機

起動が完了するとファイルやフォルダの一覧が表示



課題の回収 (1/2)

- 画面上部の「Formgrader」をクリックして課題一覧画面に移動。
- 課題「assign02」の行にある回収アイコンをクリック。





課題の回収 (2/2)

- •以下のような画面が表示されたら「OK」をクリック。
- 新規の提出があると、提出数が変化。

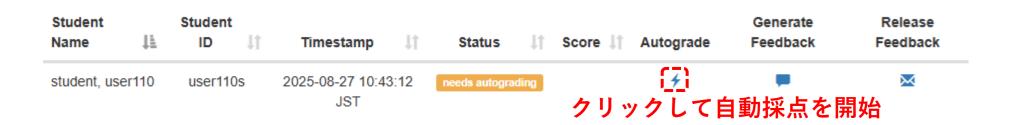


課題の手動採点 (1/6)

・課題の提出数をクリック。



• (自動採点の問題が無くても)自動採点を先に実行。





課題の手動採点 (2/6)

- •以下のような画面が表示されたら「OK」をクリック。
- 採点された提出物の状態が「needs manual grading」に変化。

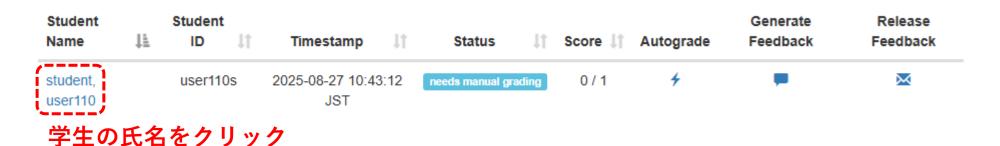




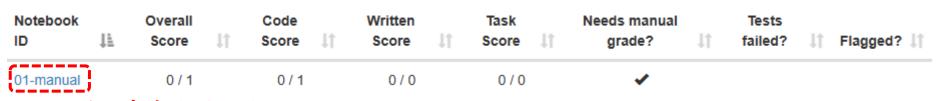


課題の手動採点 (3/6)

• 手動採点を行う学生の氏名をクリック。



• 課題のファイル名(ここでは01-manual)をクリック



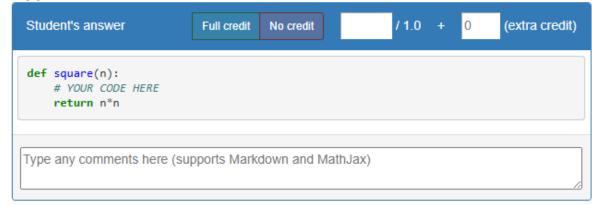
ファイル名をクリック

課題の手動採点 (4/6)

• 問題の評点とコメント(任意)を記入。

引数nの2乗を返す関数squareを定義します。「raise NotImplementedError()」を削除してからコードを記述してください。

In [1]:



このセルでプログラムの計算結果を確認してみましょう。

In [2]:

```
print(square(5))
25
```

引数nの2乗を返す関数squareを定義します。「raise NotImplementedError()」を削除してからコードを記述してください。

In [1]:



このセルでプログラムの計算結果を確認してみましょう。

In [2]:

```
print(square(5))
25
```



課題の手動採点 (5/6)

- 画面上部の「next」をクリック。
 - 採点対象が前や次の提出物に移動するときに採点結果が保存。





課題の手動採点 (6/6)

・採点対象の提出物をすべて採点し終えると元の画面に戻ってくる。

ŢŢ	Submission ID	Ţţ	Overall Score	Ţţ	Code Score	Ţţ	Written Score	Ţţ	Task Score	ļĵ	Needs Manual Grade?	Tests Failed?	Ţţ	Flagged? 🎼
•	Submission #1		1/1		1/1		0/0		0/0					

• 画面左側の「Manage Assignments」をクリックして、課題一覧画面に移動。

nbgrader



フィードバックの作成・公開 (1/5)

・課題「assign02」のフィードバック作成のアイコンをクリック。



•以下のような画面が表示されたら「OK」をクリック。





フィードバックの作成・公開 (2/5)

•課題「assign02」のフィードバック公開のアイコンをクリック。



以下のような画面が表示されたら「OK」をクリック。





フィードバックの作成・公開 (3/5)

• タブを削除して、ホームに戻る。



• 画面右上の「Logout」をクリックしてMCJ-CloudHubからログアウト。





フィードバックの作成・公開 (4/5)

• MCJ-CloudHubのタブを削除。



フィードバックの作成・公開 (5/5)

• Moodleからもログアウト。

① 画面右上のユーザのアイコンをクリック



47



フィードバックの取得(学生)

学生役として採点結果を取得・閲覧します。



学生としてMoodleにログイン

• 学生用のアカウントを使用してMoodleにログイン。





コースに移動してMCJ-CloudHubを起動

- マイコースに自分のユーザ番号に対応したコース)があるので、そのコースアクセス(画面例とは異なるかも)。
- コース内に設置された外部ツールをクリック。



Logout | Control Panel

Last Modified

2分前

6日前

13時間前

Upload New → C

Jupyter環境の起動

• MCJ-CloudHubにアクセスすると、各自のJupyter環境(プログラムの開発・実行環境)が起動。

jupyterhub

• 起動が完了するまで待機。



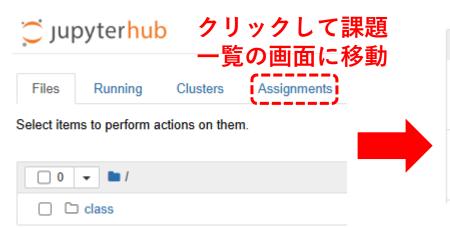
Jupyter環境が起動するまで待機

起動が完了するとファイルやフォルダの一覧が表示



フィードバックの取得 (1/6)

- 画面上部の「Assignments」をクリックして課題一覧画面に移動。
- 「assign01」のフィードバックが公開されているので、「Fetch feedback」をクリック。



Submitted assignments		
assign01	course110	Fetch Feedback
2025-08-26 21:32:44 JST (feedback available to fetch)		
assign02	course110	Fetch Feedback
2025-08-27 10:43:12 JST (feedback available to fetch)		クリックしてフィード
		バックを取得



フィードバックの取得 (2/6)

フィードバックが公開されている場合、「view feedback」というリンクが作成されるので、これをクリック。



クリックしてフィードバックを表示

• ファイル名をクリックしてフィードバックの内容を確認。



クリックしてフィードバックを表示

フィードバックの取得 (3/6)

• フィードバックの内容を確認。

```
01-manual (Score: 1.0 / 1.0)
   1. Coding free-response (Score: 1.0 / 1.0)
   2. Comment
   引数nの2乗を返す関数squareを定義します。「raise NotImplementedError()」を削除してからコード
   を記述してください。
   In [1]:
                                                              Score: 1.0 / 1.0 (Top)
     Student's answer
     def square(n):
         # YOUR CODE HERE
         return n*n
     Comments:
     よくできました。
   このセルでプログラムの計算結果を確認してみましょう。
   In [2]:
     print(square(5))
     25
```



フィードバックの取得(4/6)

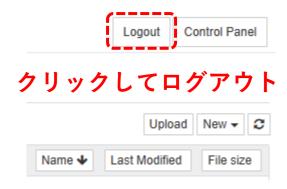
• タブを削除していき、ホームに戻る。





フィードバックの取得(5/6)

• 画面右上の「Logout」をクリックしてMCJ-CloudHubからログアウト。



• MCJ-CloudHubのタブを削除。





フィードバックの取得(6/6)

• Moodleからもログアウト。

① 画面右上のユーザのアイコンをクリック



付録: 成績のMoodleへの反映

MCJ-CloudHubの課題の点数を、Moodleコースの評定に反映させます。

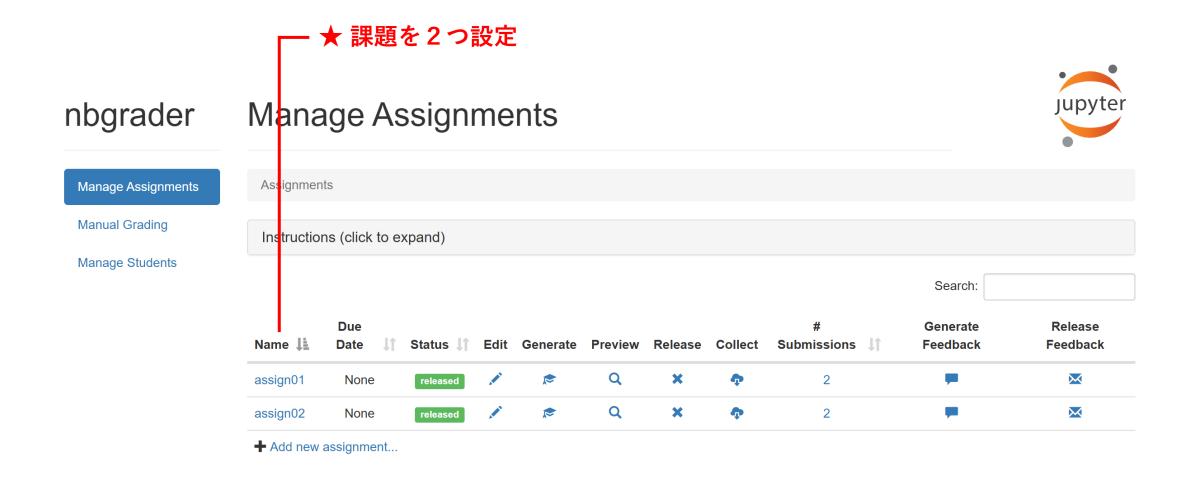
成績のMoodleへの反映

- Moodleコースの評定表には、小テスト、課題、アンケート等の各活動について、参加者の点数が記録されます。
- 今回の演習環境には準備できませんでしたが、MCJ-CloudHubにおける課題の点数をコースの評定表に反映させる機能を実装しています。



MCJ-CloudHubにおける課題の名称(今回のセミナーではassign01やassign02)の項目が追加され、各学生の点数が記入される。

0. nbgraderで成績が登録されていることを確認する



0. nbgraderで成績が登録されていることを確認する

nbgrader

Manage Students

Manage Assignments

Manual Grading

Manage Students

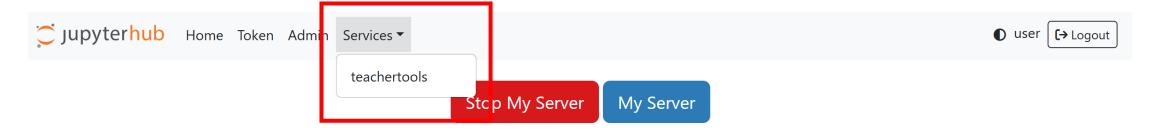
学生	ハタ	盐	IГ

Name	ŢĒ	Student ID	Ţţ	Email	11	Overall Score	↓ ↑	Edit Student
01, student		student01		student01@example.com		30 / 50		1
1, User		user01		user01@example.com		30 / 50		
2, User		user02		user02@example.com		0 / 50		

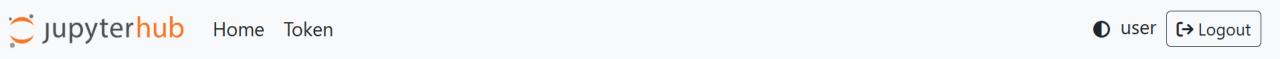
⁺ Add new student...

Students

1. 成績送信用サービスにアクセスする



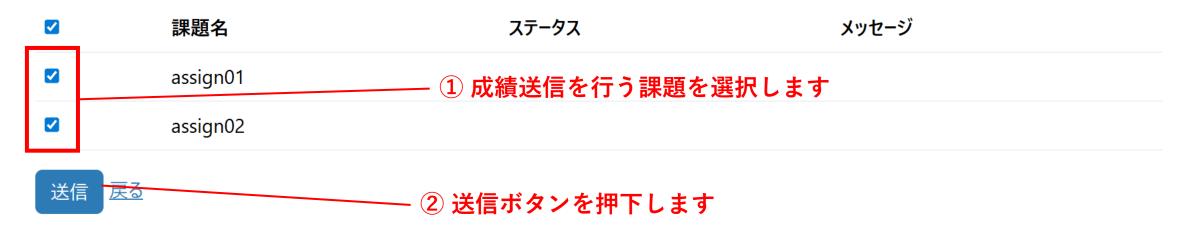
2. 成績送信対象の課題を選択・送信を実行する



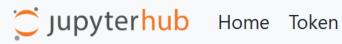
成績送信

成績をLMSに送信します。nbgraderにて、リリース済みの課題の成績が送信可能です。 コースは現在ログイン中のコースが対象となります。

現在のコース: Course101



3. 送信完了





成績送信

成績をLMSに送信します。nbgraderにて、リリース済みの課題の成績が送信可能です。 コースは現在ログイン中のコースが対象となります。

現在のコース: Course101

	課題名	ステータス	メッセージ
~	assign01	送信完了	
✓	assign02	送信完了	

正常に送信できた場合、送信完了となります

4. Moodle側の確認 (成績情報詳細)

Course101

	Course Settings	Participants	Grades Reports	More Y
Grader report ~	Search users	F	Filter by name ~	

		Course101 ···	課題ごと	この成績	合計点数
First name / Last name 📜 🚥	Email address •••	ආ mcjcloudhub •••	🕜 assign01 🚥	🖍 assign02 🚥	∑ Course total •••
s0 student 01 •••	student01@example.com	- •••	15.00	15.00	30.00
U1 User 1 •••	user01@example.com	- •••	15.00	15.00	30.00
U2 User 2 •••	user02@example.com	- •••	-	-	-
	Overall average	-	15.00	15.00	30.00

動画



67

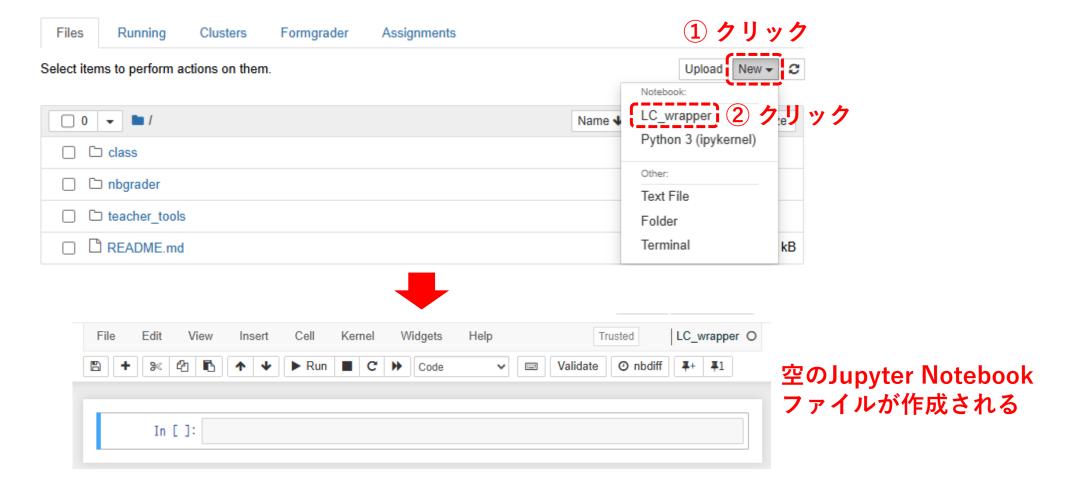
付録:課題ファイルの作成

セミナーで用いた課題ファイルの作成手順について説明します。



課題の作成(1/13)

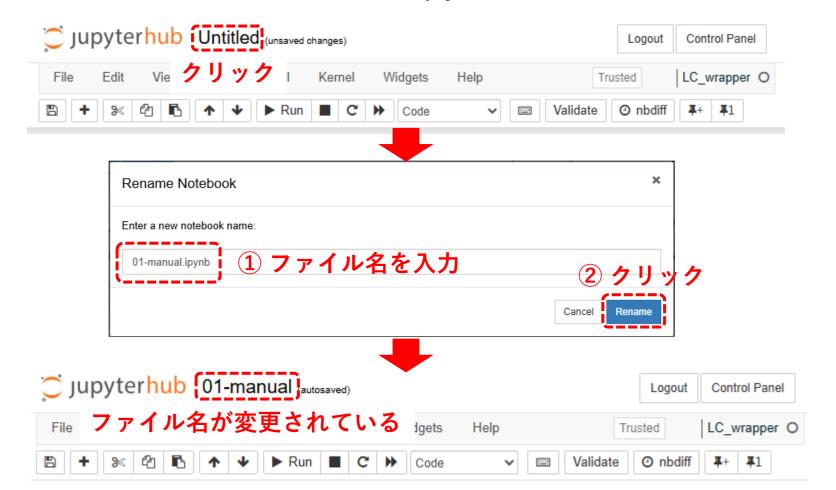
- 画面右上にある「new」をクリックして、「LC_wrapper」を選択。
- 空のJupyter Notebookファイルが作成される。





課題の作成(2/13)

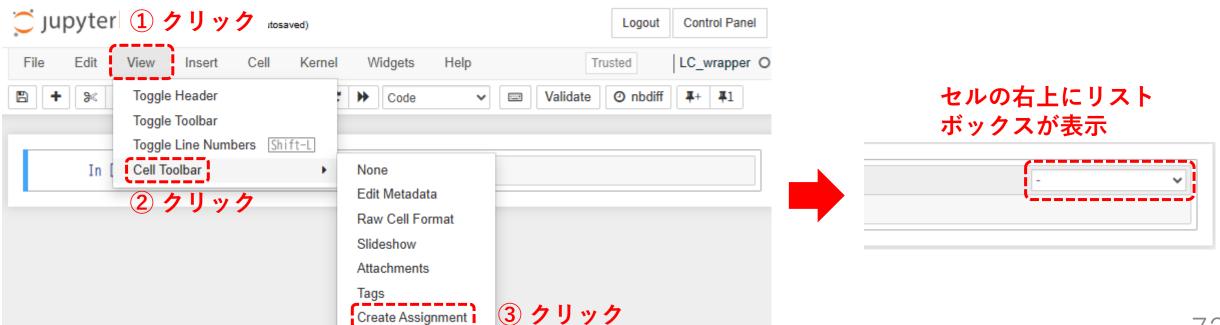
- 画面上部のファイル名(この時点ではUntitled)をクリック。
- ファイル名(01-manual.ipynb)を入力して「Rename」をクリック。





課題の作成 (3/13)

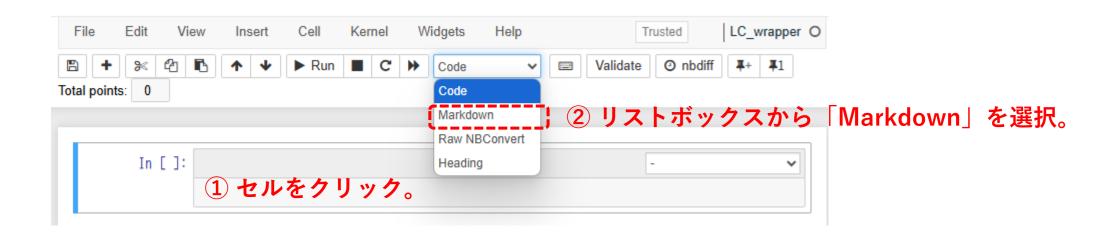
- メニューバーの中から「View」をクリックした後、「Cell Toolbar」、「Create Assignment」を順番に選択。
- セルの右上にリストボックスが表示。





課題の作成 (4/13)

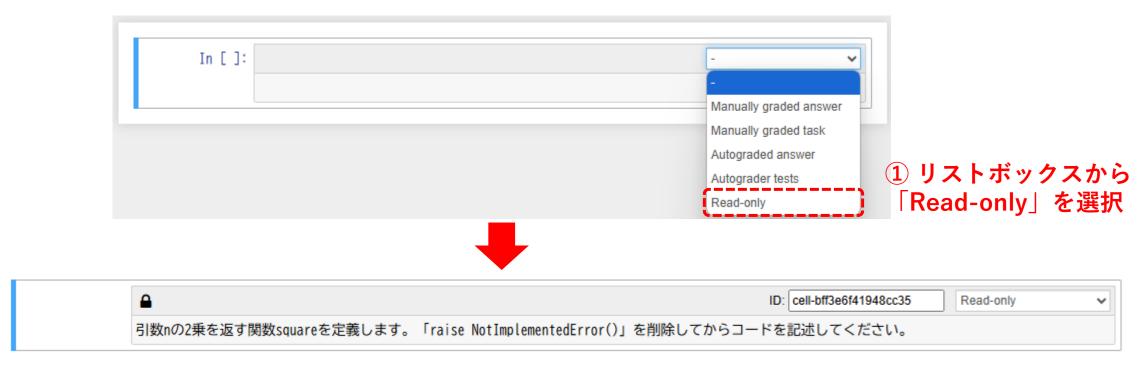
- 最初のセルをクリックしてそこにフォーカスを移動。
- 画面上部のリストボックスをクリックした後、「Markdown」を選択。





課題の作成(5/13)

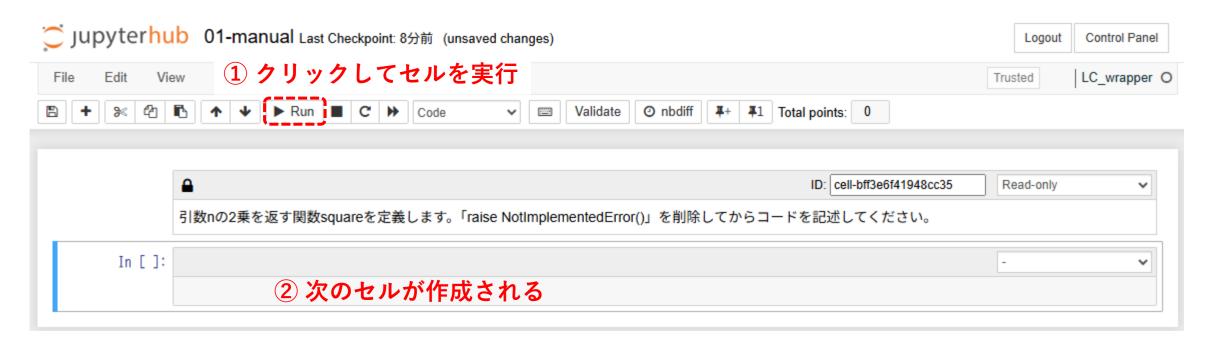
- セルの右上にあるリストボックスの中から「Read-only」を選択。
- セルの中に、以下のような問題文を記述。





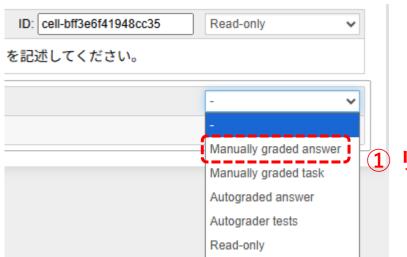
課題の作成 (6/13)

• 先程のセルを実行(次のセルが作成される)。



課題の作成(7/13)

セルの右上のリストボックスをクリックした後、「Manually graded answer」を選択。



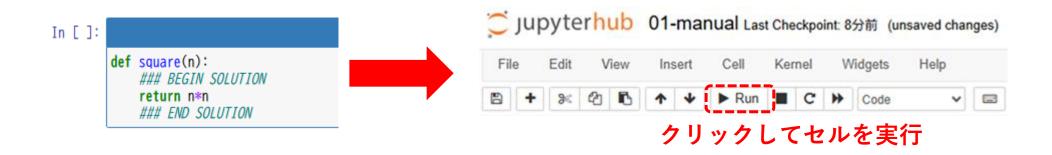
リストボックスから「Manually graded answer」を選択

• セルに評点の項目が追加されるので、1点に設定。

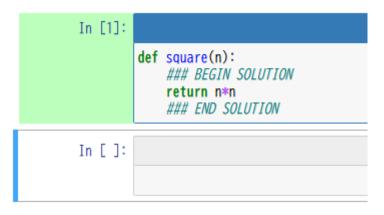


課題の作成 (8/13)

• セルの中に以下のようなコードを記述した後、セルを実行。

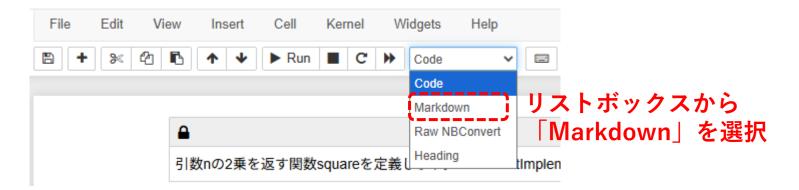


• エラーが発生しなければOK(次のセルは自動的に作成される)。

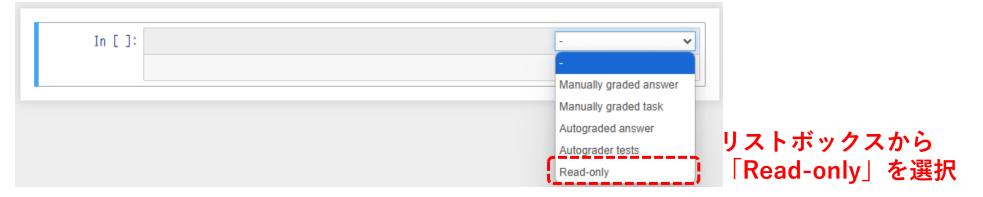


課題の作成(9/13)

作成されたセルをクリックした後、画面上部のリストボックスの中から 「Markdown」を選択。



• セルの右上にあるリストボックスの中から「Read-only」を選択。



課題の作成(10/13)

• 先程のセルの中に以下のような文章を入力した後、セルを実行。



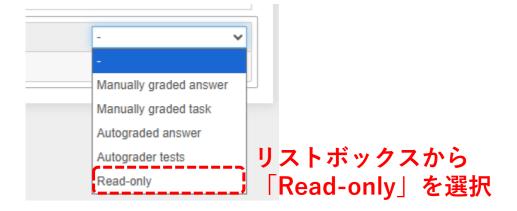
• 次のセルが自動的に作成される。

	このセルでプログラムの計算結果を確認してみましょう。
In []:	

教師

課題の作成(11/13)

• セルの右上にあるリストボックスの中から「Read-only」を選択。



• 作成されたセルの中に以下のようなコードを入力した後、セルを実行。



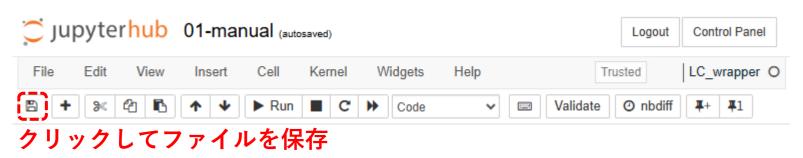


課題の作成(12/13)

• 実行結果が表示されたらOK(次のセルが自動的に作成される)。

	In [2]:	<u>•</u>
		<pre>print(square(5))</pre>
#		25
	In []:	

• 画面左上のディスクのアイコンをクリックして、ファイルを保存。





課題の作成(13/13)

• タブを削除して、ホームに戻る。

